

事業所における自己評価結果（公表）

別紙3

公表：令和 5年 3月 1日

事業所名 すたあと

|         |   | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点   | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標   |
|---------|---|--|----|-----|---|--|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか   | 6  | 0   | ・参加の人数によって、空間を広げたり、仕切ったりするようにしている。  | ・活動によって場所が変わってしまうこともあり、お子様によっては混乱してしまうこともある。それぞれの活動について場所を決めるように構造を組んで、どこで何をするのかを意識しやすいようにしていきたい。  |
|         | ② | 職員の配置数は適切であるか  | 6  | 0   | ・支援の充実を図るため、基準配置より多めに職員を配置するようにしている。  | ・その日の職員の配置によっては、ご利用の日にすぐにご相談に対応できないこともある。そのままにならないように、別日を設定したり、電話などでタイムリーに対応できるようにしていきたい。          |
|         | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか   | 6  | 0   | ・活動ごとに空間を分けるようにしている。また、必要に応じてパーテーションを使い集中しやすい環境を作ったり、広めの空間を作ったりするようにしている。   | ・お子様によって合う環境、苦手な環境などがあると思うので、様子を見ながらお子様に合った環境を整えていく。   |
|         | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか   | 6  | 0   | ・構造を固定していないため、お子様に合わせて個別の空間を作ったり、広めの空間を作ったりしている。  |  |
| 業務改善    | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか   | 6  | 0   | ・それぞれの活動の振り返りの際に、改善点や次回の工夫など職員間で話をするようにしている。  | ・振り返りを効率的にできるように、記録に残して確認する内容を、全体で確認をする内容を分けて話をするようにしている。  |
|         | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか   | 6  | 0   | ・毎年一度、事業所評価のアンケートにご回答いただき、いただいたご意見をもとに業務改善を図っている。   | ・公表の結果を職員間でもきちんと共有して改善を話し合う時間を取る。  |
|         | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか                                | 6  | 0   | ・法人のホームページ内にて、公開しており、掲載後に園だよりでその旨をご案内している。  |  |
|         | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか  | 4  | 2   | ・外部からコンサルテーションに入ってもらい、業務改善に努めている。   | ・様々な目があることで、職員もより意識して業務にあたる事ができていると思っている。回数としては十分に取れていないため、その日の勤務の状況で参加できない職員もいるため、共有をしっかりとしていきたい。 |
|         | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか   | 6  | 0   | ・法人内の研修への参加、それぞれの経験年数に合った研修への参加をしている。   | ・対面での研修が少しずつ増えてきているが、感染状況によっては参加が難しい場合も多い。積極的にオンラインの研修への参加などを活用して、必要な研修が受けられるようにしていく。              |
|         | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか  | 6  | 0   | ・利用時、前期の評価前、終了前の時期に遠城寺式乳幼児分析的発達検査法などを用いてアセスメントを実施しており、支援計画に反映するようにしている。<br>・活動の中でお子様の課題を確認したり、目標要望書に成長してほしい課題をご記入いただくことでニーズの確認をしたりしている。 | ・アセスメントについて、きちんと支援に活かしていくために、定期的に職員間で、取り方や活用の仕方を確認していく。  |
| 適切な支援の  | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか  | 6  | 0   | ・遠城寺式乳幼児分析的発達検査法、太田ステージなどを使用している。   |  |
|         | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 6  | 0   | ・それぞれのお子様に必要な支援を選択し、具体的な支援内容を設定するようにしている。   |  |
|         | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか   | 6  | 0   | ・それぞれの支援計画に沿って支援を実施している。半年に一度見直しをするほか、必要な際には支援の見直しをしている。  | ・ふり取りやカンファレンスを通して、行っている支援が計画に沿っているかを常に考えていく。   |
|         | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか  | 6  | 0   | ・療育に当たる職員全体でプログラムの検討をしている。  |  |

|                          |    |   |   |   |  |  |
|--------------------------|----|---|---|---|--|--|
| 提供                       | 15 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか   | 6 | 0 | ・同じ活動を繰り返すことが成長につながりやすいお子様については、変更せずに取り組むこともあるが、一つのねらいに対して様々なプログラムを立案して取り組むようにしている。                        | ・それぞれの活動の意味についてはなぜ同じ活動が必要なのか、何をねらって今の活動をしているのかなど、きちんと保護者へ説明することを意識していく。                          |
|                          | 16 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか                                 | 6 | 0 | ・それぞれのお子様に合わせて必要な支援を組み合わせている。  |  |
|                          | 17 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか                               | 6 | 0 | ・朝礼の時間にその日の担当を中心に打ち合わせをしてそれぞれの役割やその日の必要な共有事項を確認している。   |  |
|                          | 18 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか                          | 6 | 0 | ・終礼の際に、その日の振り返りを行い、共有している。   |  |
|                          | 19 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか   | 6 | 0 | ・どの職員が担当する際にも情報を引き継げるように、日々の活動を記録として残している。   | ・職員によって記録の情報量にばらつきが出ることもあるため、記入の仕方を職員間で作っていく必要性を感じている。   |
|                          | 20 | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか   | 6 | 0 | ・半年に一度、支援計画の見直しを行っている。   | ・日々の振り返りの中で必要な際には、見直しの時期以外でも計画を見直すようにしている。   |
| 関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携 | 21 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか                            | 6 | 0 | ・管理者、児童発達支援管理責任者が参加している。   |  |
|                          | 22 | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか  | 6 | 0 | ・必要に応じて保健師やコーディネーターとの連携を図っている。   |  |
|                          | 23 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | - | - | ・該当なし  | ・医療的ケア児が利用していない。   |
|                          | 24 | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか             | - | - | ・該当なし  | ・医療的ケア児が利用していない。   |
|                          | 25 | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                | 6 | 0 | ・保護者からの要望がある際には、園との情報共有をさせていただくことがある。  | ・お子様の様子を、園へ見に行かせていただき、必要に応じて連携を取っている。今後も継続して相互理解を図っていきたい。  |
|                          | 26 | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか                            | 5 | 1 | ・保護者からの要望がある際には、小学校とのケース会議や引継ぎに同行し、情報の共有をさせていただくことがある。   | ・回数としては少ない。小学校へのスムーズな移行のためにも、積極的に機会を持っていきたい。   |
|                          | 27 | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか                     | 4 | 2 | ・他機関からの助言や研修を受ける機会は少ないが、外部の先生に研修をしていただく機会はある。  | ・職員のスキル向上のためにも、研修の機会をしっかりと作ってきたい。  |
|                          | 28 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか                                      | 1 | 5 | ・新型コロナウイルス感染症が落ち着いてきたら、外出活動などを取り入れて交流を考えている。   | ・基本的には保育所、認定こども園、幼稚園を利用しながら当事業所を利用されている方が多いため、あえて機会を作ることはしていない。                                  |
|                          | 29 | (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか                                     | 1 | 5 | ・法人内の職員が参加しており、必要に応じて情報共有をしている。  |  |
|                          | 30 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか                               | 6 | 0 | ・連絡帳でお子様の様子をお伝えしたり、お迎えの際に様子や課題をお伝えしたりしている。   | ・新型コロナウイルス感染症の感染対策のため十分に時間を取ることができていない状況がある。短い時間の中でもわかりやすく伝える工夫や、電話での対応など、状況に応じた対応を行ってきたい。       |
|                          | 31 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか                   | 3 | 3 | ・新型コロナ感染症の関係で、現状としては大人数が集まった講座が難し。それぞれ個別での相談対応を行っている。機会を増やしたいと考えているが、実行までは至っていないため、今後どのように導入していくか現在検討中である。 | ・少しずつ、少人数での座談会の機会などを作っている。回数としては少ないため、保護者のニーズに合わせて設定していきたい。                                      |
|                          | 32 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか   | 6 | 0 | ・利用開始前の契約の際に、説明をさせて頂いている。  | ・一度の説明では情報量も多く難しい表現も多いために理解しづらい点もあると思われるため、できるだけわかりやすい説明を心がけるとともに、疑問がある際にはその都度説明をさせていただくようにしている。 |

|            |    |   |   |   |  |  |
|------------|----|---|---|---|--|--|
| 保護者への説明責任等 | 33 | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 6 | 0 | ・プラン懇談の際に説明を行い、承認をいただいている。   |  |
|            | 34 | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか  | 6 | 0 | ・連絡帳のその日の様子の欄やお勉強用紙へのご質問、お迎えの際の質問や相談について適宜お話をさせて頂くようにしている。                         | ・研修や自己研鑽による、それぞれの職員のスキルの上には継続した課題だと考えている。  |
|            | 35 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか   | 1 | 5 | ・保護者同士で集まる機会は現在のところ持っていない。親子療育の場で一緒に話す時間を設定することなどはしており、今後感染対策をしながら取り組んでいきたい。       | ・今年度は保護者同士で交流するような場面を作ることがほとんどできていない。感染症予防に配慮しながら実施できる形を考えていきたい。<br>・父母の会等については、地域の園に所属されているお子様が多いためあえて作ることはしていない。 |
|            | 36 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか                           | 6 | 0 | ・契約の際にお伝えしており、ご相談があった場合にはすぐに対応できるようにしている。すぐに時間を設定することが難しい場合には、別途相談の時間を設定するようにしている。 | ・保護者が疑問に思った際やご意見がある時に、言い出しやすい環境や関係性を作るようにしていく。   |
|            | 37 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか   | 6 | 0 | ・事業所のおたよりを毎月発行しており、活動の内容や、必要なお知らせについて発信している。                                       |  |
|            | 38 | 個人情報の取扱いに十分注意しているか  | 6 | 0 | ・契約の際に、個人情報に関する同意書をいただいております。写真の掲載等も許可を得ている。個人のカルテ等についてはカギのかかるロッカーで保管している。         | ・職員間でも定期的に個人情報の取扱いについて、共有する時間を作っていく。   |
|            | 39 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか  | 6 | 0 | ・それぞれのお子様、保護者様に合わせて対応するよう心掛けています。  |  |
|            | 40 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか   | 0 | 6 | ・招待の機会はないが、クリスマスに地域の方からお菓子の家をいただくなど気にかけていただいている。                                   | ・個人情報、守秘義務の観点から地域の方を招待することは難しい。お買い物活動やお散歩の時間などを通して、地域の方とあいさつを交わす機会は設けることができる。                                      |
| 非常時等の対応    | 41 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか                                  | 6 | 0 | ・年度の初めに全職員でマニュアルの内容を確認するようにしている。また、定期的に避難訓練を実施している。                                |  |
|            | 42 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか   | 6 | 0 | ・毎月、お子様と一緒に避難訓練に取り組んでおり、逃げる際の職員の動きやお子様についての配慮事項など確認するようにしている。                      |  |
|            | 43 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか  | 6 | 0 | ・契約の際にカルテの記入をお願いしており、それぞれのお子様の状況を把握するように努めている。また、ケースファイルの背表紙に職員が拘確認できるように記載している。   | ・年度での情報の更新など、懇談の機会に確認することを徹底していくようにする。また、変更があった時にはお知らせいただくように保護者の方へも案内していく。  |
|            | 44 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか   | 5 | 1 | ・医師の指示書はないが、アレルギーのあるお子様については、対応について保護者へ確認して許可を得ながら対応するようにしている。                     | ・アレルギーのある利用児がいる際には、個別に皿や保存容器を分けることで対応している。   |
|            | 45 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか  | 5 | 1 | talknote内に各事業所のヒヤリハットやインシデントを共有するスレッドがあり、それぞれが意識できるようにしている。                        | ・事業所内や他事業所からヒヤリハットやインシデントの報告があった際に、全ての職員が確認するようにしていく。  |
|            | 46 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか   | 6 | 0 | ・法人内で代表者が研修に参加している。法人内でも今年度は2月に研修の予定となっている   |  |
|            | 47 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか                           | 5 | 1 | ・お子様の意に反して行動制限をする場合についての説明と許可を契約時にいただくようにしている。                                     | ・支援計画への記載はないため、記載していく。   |